

## 村生地販売拡大へ提案加速

澤

### 「テキスタイル東京」出展

澤村(大阪市中央区)「第1回テキスタイルフェア」は国内テキスタイル販売拡大に向け、展示会への出展や内見会の開催など提案を充実している。その一環として11月7〜9日に東京ビッグサイトで開かれる「第2回テキスタイル東京」に出展し、北陸産地を軸とした付加価値テキスタイルをアピールするとともに、縫製までの一貫体制を訴求する。今年4月に開催された

「第1回テキスタイルフェア」に出展し、拡販への手応えを得た。展示会への出展は10年以上ぶりで、資材やスポーツ、アパレル、裏地など広範な販売先を持つ繊維資材事業部とインナー向け生地と製品を扱うインナー事業部が共同で提案。主にファッション関連の新規顧客を開拓することが目的だったが、3日間で約100社が同社ブースを訪れ、そのうちの数社とは成約にまでつなげた。

インナー生地、同レーズ、同製品、和紙繊維、ジャケット地としてのダブルラッセル、シャツ地としてのトリコット、スポーツ向けの加工素材などを提案したところ、片面撥水(はっすい)・片面吸水の「アクアホール加工」がスポーツ向けで人気を博し、ダブルラッセルやトリコットの引き合いも多かった。5月に東京支店で開いた内見会への誘導効果も狙ったという。

第2回展では、引き続き新規開拓に向けてテキスタイル提案を充実するとともに、澤村という会社そのものをアピールしたい(奥野純永繊維資材事業部事業部長代行兼東京テキスタイル部長)として、今回展でも12月中旬に東京支店で開催する内見会への誘導に力を入れる。さらに、インナー製造販売子会社のプレジヤーション、縫製子会社の光洋日向、タイ現地法人の取り組みなどもコーナーを設けて訴求し、総合力をアピールする。同社は北陸産地の編み

地を軸にした日本製テキスタイルの開発力が強み。インナー、ファッション、寝装、スポーツ、資材など販路も幅広く、子会社に縫製工場や小売店舗を持つことも、展示会でのアピール材料になる。テキスタイル販売ではこれまで「ファッション分野がやや弱い」と自認、このため入れのたために展示会出展や内見会に力を入れるとともに、今年17年9月期からは、東京テキスタイル部を新設し、同地での拡販体制を整えた。